

令和8年度 鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校「学校経営の改革方針」

1 めざす学校像（基本理念）

【学校教育目標】

信頼と挑戦 ～「みんなでつながり、みんなでつくる学校」を目指して
（鼓ヶ浦中学校区目標）「地域大好き 学校大好き 友だち大好きでつながる子の育成」

【めざす学校像】

- あたたかい信頼関係で結ばれた学校
- 未来に挑戦し続ける活気あふれる学校

2 めざす生徒像

- (1) 互いに信頼し合い、協働的に学校生活を創造できる生徒
- (2) 自ら学び、失敗を恐れず挑戦し続ける生徒

3 現状と課題

(1) 学力保障・学力向上について

- 教員の授業改善への意欲が高い。
- 他校への授業参観など教員の研修・研鑽の機会が保障された。
- 教科部会を設定し、組織的な教科の授業改善に取り組んでいる。
- 国語・数学においてCD層^(注1)の割合が大きく、基礎学力に課題がある。
- 生徒の家庭学習習慣の定着や読解カシートの取り組みが不十分である。

(注1) 学校別平均正答率を合計し、四分位数で平均正答率の合計が大きい方からA層B層C層D層の4区分とした、下位2層。

(2) 不登校対策について

- 組織的な学校全体の支援体制が機能している。
- 関係機関と連携し、協働的に支援が進んでいる。
- 非認知能力（自己肯定感）が高い。
- 関係機関との連携をさらに円滑に推し進める必要がある。
- 不登校対応への人的資源の不足を組織的な体制で補う必要がある。

(3) 人権教育の充実について

- 様々な学習での出会いを通して、自分を見つめ自己肯定感が高まった。
- ノーチャイムデーや無言清掃など生徒主体の活動が人権意識の醸成に繋がった。
- 生徒主体の活動の目的が、まだ生徒全体には浸透していない。
- 人権総合学習が系統だっておらず、学びが普段の生活に活かしていない。

(4) 校区及び地域連携と協働について

- PTAと地域で除草作業、年2回の海岸清掃を実施している。
- 生徒が地域行事に参加し、地域の活性化を助けた。
- 郷土学習（伊勢型紙）を実施している。
- 警察共助員による部活動見守りや様々なボランティアによる地域の協力がある。
- 津波避難訓練の第3次避難への地域参加は、距離があるため難しい。
- ボランティアの世代交代と引継ぎに課題がある。

(5) 信頼される学校と働きやすい職場づくりについて

- 通信の発行やHPの更新、授業参観によって、保護者・地域に情報を発信。
- 休暇を取りやすい雰囲気職員間で醸成した。
- 教員間の信頼関係や協調性が良好である。
- 通信・メール配信等十分でない部分もある。HPの更新が進んでいない。

4 重点目標

- (1) 誰一人取り残さない主体的な学びの実現を目指した授業改善を図る。
- (2) 生徒に寄り添い、信頼関係に基づく発達支援と生活の改善を図る。
- (3) 人権尊重と利他共生の精神を土台とした生徒エージェンシーを育成する。
- (4) 小中一貫を目指した教育連携と郷土愛を育む活動を推進する。
- (5) 学校と地域と保護者で協働した教育活動を推進する。
- (6) 教員の意識改革をすすめ、主体的で組織的で活力ある職場をめざす。

5 本年度の具体的な行動計画

(1) 学力保障・学力向上の取組

自ら学び、調整できる学習者を育てる

① 授業改善

- ・生徒が自己調整しながら自分のペースで学び、満足感・達成感が味わえるような授業改善
- ・対話やアウトプットの場面を設定し、生徒の思考力・表現力・創造力を高める。
- ・CD層へのアプローチ。学習意欲の向上と必要な学力の定着をさせるための工夫をする。

指標 「全国学力学習状況調査の正答率、CD層の割合」【目標：全国平均】(やりぬく力)

指標 「お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」【目標：90%】(社会性)

指標 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができる」【目標：80%】(社会性・やりぬく力)

② 学級経営

- ・協働的な学びにつながるようなあたたかいつながりある「信頼と挑戦」の学級経営
- ・規律の徹底と信頼関係づくり。
- ・人権感覚の向上と安心できる仲間づくり。

指標 「自分には良いところがある」【目標：80%】(自己肯定感)

指標 「人が困っているときはすすんで助ける」【目標：90%】(社会性・やりぬく力)

(2) きめ細かな対応をベースとした不登校対策

多角的な生徒理解をもとにした組織的対応の継続と人権教育の充実

- ・相談部会の充実と具体的支援の検討。
- ・Co(特別支援教育コーディネーター)を核とした関係機関とのスムーズな連携。
- ・長欠・不登校生徒の学びの保障や多様なケースに対応した個別の支援の拡張。

指標 「学校に行くのは楽しい」【目標：90%】(自己肯定感)

指標 「先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」【目標：80%】(社会性)

(3) 安心安全な学校を目指した生徒指導の充実

多面的な生徒理解による組織的な指導体制の継続と主体的な生徒集団の育成

① 生徒理解

- ・ ポジティブ行動支援「ほめる」「認める」「励ます」良い行動の強化。
- ・ コーチングによる寄り添い見届ける生徒指導。

指標 「先生はあなたのよいところを認めてくれる」【目標：90%】（自己肯定感・自制心）

③ 発達課題の見極めと支援

- ・ Co（特別支援教育コーディネーター）を中心とした特性改善にかかわる支援の組織的な取組。
- ・ 通級指導教室の活用。（社会性・自制心）
- ・ 普通教室内での支援環境づくり。掲示物、指示の工夫、みんなのできる SST。

③ 生徒会・委員会の活性化

- ・ 生徒の企画・運営による生活改善活動の推進。生徒からのメッセージ発信を大切にする。
- ・ 交通ルールの呼びかけ、無言清掃や奉仕活動等を推進する。（やりぬく力）

指標 「将来の夢や希望を持っている」【目標：積極的肯定 50%】（社会性・自制心）

(4) 小中一貫教育を見据えた小中連携の推進

学校の枠を超えた教育活動組織の強化

① 学校運営協議会の開催

- ・ 地域 Co からのボランティア活動の発信や地域講師による郷土学習の実施。（社会性）

指標 学校運営協議会の開催【目標：年 6 回】 拡大学校運営協議会の開催【目標：年 1 回】

② PTA や他団体との連携促進

- ・ 保護司会や白子交番、社会福祉協議会との連携。
- ・ 地域と生徒との触れ合う場面の設定。（社会性）

② 小中一貫教育

- ・ 中学校区共通の教育目標を設定する。
- ・ 人権教育アライメント事業の実施。中学校区内での公開授業・授業参観の実施。
- ・ 生徒指導・支援、不登校、学力向上、人権の 4 部会の中学校区の会議開催。

指標 校区校長会の開催【目標：年 6 回】 地区補導他各部会【目標：年 4 回】

(5) 働きやすい職場づくりと服務規律の徹底

学び続ける教師を目指して

① 教員の日々の授業改善と自己研鑽のすすめ

- ・ 学び続ける教員として、技を磨き、実効性のある授業改善を推進するための研修機会の確保。
- ・ 協働的で個別最適な学びを実現するため研修を推進する。
- ・ 生成 AI 活用も含めた ICT 活用についての研修。

指標 1 人 1 回以上/年の研究授業と校外研修の参加

② 服務規律の徹底・コンプライアンス研修の実施【目標：年 3 回】

③ 教員のワークライフバランスの推進

指標 360 時間/年、45 時間/月を越える時間外労働年間延べ人数 0 人
時間外労働 月平均 30 時間以下/人 年休取得 年 20 日/人
定時退校日の定時退校できた職員の割合【目標：100%】
部活動休養日の計画通りの実施割合【目標：100%】
放課後開催の 60 分以内に終える会議の割合【目標：100%】